

# 飯能市先輩職員インタビュー

## ～保健師編～

### 先輩職員プロフィール



中原 聡子（平成27年度入庁）

健康福祉部健康づくり支援課 保健師

### 現在の仕事について

あらゆる世代の方々が、より健康に暮らせるよう様々な支援をしています。

例えば、お子さんがいるご家庭には訪問、健診や各種相談会を通じた育児支援を行っています。成人期の方には、様々なテーマの教室の開催、個別訪問や特定保健指導等を行っています。

ときには病院や保健所などの関係機関とも連携しながら、生活に困っている市民の方々に対して健康づくりを切り口に支援しています。

### 仕事のやりがい、魅力

以前、ある育児不安を抱えているお母さんに定期的な訪問を行っていました。一緒に支援センターへ行くなど様々な支援をしていくうちに、お母さんが仲間を見つけて楽しく育児をすることができるようになっていきました。最終的に私の支援も必要ない状態にまでなったときは、「ああ、よかったな。」と達成感とやりがいを感じることができました。

一方で、市役所内外の多くの関係機関と連携していく仕事なので、今日の前で困っている市民の方に対してどのような支援制度やサービスを提供できるのか、幅広い知識が求められます。関係機関との連携をスムーズに行えないと、困ってしまうのは市民の方です。そのようなことにならないよう、日々様々な支援制度やサービスについて勉強しています。

## 職場の雰囲気

私は現在2人の子どもを育てながら働いているので、急な子どもの発熱や保育園の行事等で休みをいただくことも多いのですが、上司も先輩も嫌な顔をせずに、「お互い様だから！」と言ってくれます。とても働きやすい環境です。

また、訪問などから帰庁すると、先輩たちが「どうだった？」と声をかけてくださるので、お互いになんでも相談しやすい雰囲気です。

## 飯能市を志望した理由

いくつかの自治体を検討しましたが、飯能市が行っている母子保健事業にとっても惹かれました。飯能市は、2か月児相談や2歳児歯科健診など、他の自治体では行っていない事業を多く行っています。

せっかく保健師として働くなら、一生懸命、保健師活動をしている自治体がいいと思い、飯能市を選びました。

## 採用までに経験しておいてよかった（又は経験しておきたかった）と思うこと

海外留学です（笑）。

飯能市には様々な国籍の方がいらっしゃるの、健診等で対応する際には、なんでもいいので1つ外国語を習得しておけば良かったと思うことがあります。もともと旅行が好きで、色々な国に行きましたが、行って楽しむだけでなく各国の子育て事情や育児グッズなどもチェックしておけばよかったなと思います。

## 飯能市を受験する方へのメッセージ

健康づくり支援課では、保健師は地区担当制をとっています。飯能市には山間地域から市街地まで様々な地域があり、幅広く色々な経験を積むことができます。

飯能市の保健師は、新卒から病棟で看護師経験を積んでいる人まで経歴は様々です。

どんな方でも、「飯能市の保健師として頑張りたい！」という想いを持っている方をお待ちしています。一緒に働ける日を楽しみにしています。

